

あかしインクルーシブ条例の検討状況について

本市は「障害のある人もない人も安心して暮らせるやさしいまち」を目指し、障害者への配慮の促進など障害者施策を手掛かりとして、支援が必要な人への支援に積極的に取り組み、国から「先導的共生社会ホストタウン」に登録されています。

現在は、SDGs 未来安心都市・明石を掲げ、やさしいまちづくりの包括的指針となる条例の制定に向けて、有識者や障害当事者、支援者団体からなる条例検討会で検討を進めているところです。コロナ禍により検討会を延期する一方で、委員との個別意見交換を積み重ね、この10月に開催した条例検討会で条例素案をとりまとめましたので、ご報告いたします。

あわせて、11月に共生社会ホストタウン事後交流イベントとして、台湾パラアスリートとのオンライン交流会を実施しましたので、報告いたします。

1. 条例素案の概要

(1) 名称案

条例名：すべての人が自分らしく生きられる インクルーシブなまちづくり条例

略称：あかしインクルーシブ条例

(2) 条文案等

条文案：別添資料1のとおり

逐条解説：別添資料2のとおり

条文構成（概要）

目的	すべての人が大切にされ、誰ひとり取り残されないインクルーシブ社会の実現
基本理念 (前提)	インクルーシブ社会とは ⇒支援が必要な人が確実に支援を受けられる社会 ⇒支援が必要な人の自己決定権が尊重される社会 ⇒すべての人にインクルーシブ理念の必要性が理解される社会 ⇒すべての人が個性を生かし、持てる力を最大限発揮できる社会
基本方針	差別の解消、当事者参画、情報保障、連携協力
基本的な施策	1. インクルーシブ教育の推進 2. 災害時要配慮者の支援等 3. 総合相談体制の整備等 4. 地域生活の支援 5. 障害者等に対する雇用及び就労の支援 6. 地域生活関連施設の整備等 7. 移動手段の確保 8. 移動円滑化促進方針及び基本構想との関係 9. ユニバーサルツーリズムの促進

(3) 条例の特徴

- ・子どもや高齢者、障害者など各分野を横断的に包み込む条例として位置付ける
(※下イメージ図参照)
- ・支援が必要な人を、年齢や性別などにより特定の属性に固定化するのではなく、加齢や病
気、失業などで誰もが支援が必要な状態になりうるものと捉える。
- ・多様な当事者の参画を重視し、検討委員に各種障害者や支援者団体、商業者、交通事業者
などの当事者を加えた。また、その他障害当事者団体などとの意見交換も多数実施。

(イメージ：各種個別施策とインクルーシブ条例の関係)



(4) 今後のスケジュール

時 期	内 容	摘 要
2021. 12. 14	■総務常任委員会報告	条例素案の報告
12. 15	パブリックコメント開始	市民意見聴取（1ヶ月程度）
2022. 1. 14	パブリックコメント締切	
3	■議会提案	条例議案の提案
4. 1	条例施行（予定）	

【参考】これまでの検討状況

時 期	検 討 内 容
2018. 8. 27	検討会①：条例イメージの共有、課題の抽出
9～10	障害当事者団体へのヒアリング（7団体30名）
11. 12	検討会②：抽出課題について意見交換
2019. 1. 30	検討会③：中間とりまとめ案について意見交換
3～4	当事者や支援者団体へのヒアリング（3団体）
5. 16	検討会④：条例骨子案の提示、意見交換
8. 8	検討会⑤：条例検討延長を確認。条例各論部分の意見交換
8. 25	市民みんなで考えるフォーラムの開催 「誰一人取り残すことのないインクルーシブな社会を目指して」
2020. 1. 29	検討会⑥：条例素案の提示、当事者参画制度の意見交換
10～12	検討委員との個別意見交換
2021. 2～8	検討会座長・部会長との意見交換（3回）
9. 17	検討委員全員とのオンライン座談会
10. 22	検討会⑦：条例素案の確定

2. 共生社会ホストタウンの取組

共生社会ホストタウンは、パラアスリートとの交流を契機として、共生社会の取組を推進することを目的としており、本市でもユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーの取組を着実に推進するとともに、パラアスリートを招き、市民と直接交流できるイベントの開催を検討していました。

コロナ禍により対面での交流は叶いませんでしたが、メダル獲得の祝賀セレモニーなどオンラインでの交流を実施しましたので、ご報告します。

(1) オンライン交流会の概要

日 時：2021年11月24日（水） 16:00～17:30

場 所：明石市立総合福祉センター 新館1F

内 容：祝賀セレモニー、オンライン卓球教室、食文化の交流

出席者：明石市 市長、別所キミエ選手、市内中学生、兵庫県立大学生、新館利用者
台湾 林台北パラリンピック委員会常務理事、蔡パラ卓球コーチ
田選手（東京パラ卓球銅メダル獲得）、程選手（同5位）



① 祝賀セレモニー



② 似顔絵付きオリジナル表彰状を授与



③ 王子小児童からお祝いメッセージ



④ オンライン卓球教室



⑤ 食の交流（明石焼き・パフ・トルキー）



⑥ 日本・台湾参加者全員で記念撮影